

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①厚真町二十歳のつどい
- ②まが玉づくり開催案内/第26回室内ソフトボール大会/100の学び場プロジェクト(あつひやく)
- ③荣誉賞授与/ノルディーア北海道ノルちゃん訪問/長期休業中学習会
- ④就学援助について/厚真町育英資金貸付について/12月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

第1回厚真町二十歳のつどい開催

—厚真町で30人が、人生の大きな節目を迎える—



「第1回厚真町二十歳のつどい」が、1月8日(日)に厚真町総合福祉センターで開催されました。昨年度まで、厚真町成人式として開催されていましたが、昨年4月の民法の改正にともない、成人年齢が18歳に引き下げられたことを受けて、今年度から名称を変更しての開催となりました。今年度は、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた46人が対象となっており、当日は、男性17人、女性13人の合計30人が参加し、人生の大きな節目を祝いました。詳細については、「生涯学習だより特別版」で、過去に開催された成人式からこれまでの歩みについてを含め改めてご紹介しようと思います(発行は2月を予定しています)。

「大切なのは、人生について主体的に考え、自分自身で描く人生を歩んでいくこと」 式辞より抜粋



じょうもん
縄文アクセサリー

JOMON

まが玉づくり

～自分だけの石のペンダント・大切な人へのお守り～

世界遺産に登録された日本の縄文文化。厚真町でもたくさん縄文遺跡が見つかっており、石のペンダント「まが玉」が発見されています。

ぜひ厚真町の縄文の歴史にふれてみましょう！

日時：令和5年2月12日（日）午前10時～12時

場所：軽舞遺跡調査整理事務所（旧軽舞小学校）

定員：20名（小学生3年生以上）参加費 無料

申込み：☎28-2733（土日祝日は休館）またはメール shakai@town.atsuma.lg.jp



第26回室内ソフトボール大会 3年ぶりの開催

冬季期間の町民の健康・体力づくりと町民同士のふれあいを目的として「第26回室内ソフトボール大会」を3年ぶりに開催します。体を動かしてリフレッシュしてみませんか！皆さんのご参加を、お待ちしております。

◆とき 2月13日（月）～16日（木）
開会式（初日のみ）午後6時から
第1試合 午後6時30分開始
第2試合 午後7時30分開始
第3試合 午後8時30分開始

◆申込み 2月3日（金）午後5時まで
※各自治会や前大会出場チームに申込用紙を配付
していますので記入の上、厚真町スポーツセン
ターへ提出してください。（先着12チーム）

◆ところ あつまスタードーム

◆出場資格 町民又は町内の職場・学校に所属する方で中学生以上の方、チーム編成については自由となります。ただし、複数チームへの選手の二重登録はできません。

◆問合せ 厚真町スポーツセンター ☎27-3775

100年先の厚真を創る 100の学び場プロジェクト あつひゃく始動！

教育委員会では、新たな取り組みとして、「100年先の厚真を創る、100の学び場プロジェクト」（略称：あつひゃく）をスタートさせました。本取組は、令和8年度の「教育振興基本計画」の改訂に向けて、行政と町民の方々と共に、真剣に教育について考えていく場づくりとして今年度からスタートしており、第1回は、12月18日（日）に厚真町総合福祉センター大集会室で開催され、町内外から23人が参加し、厚真町の魅力や強みのほか、この先、子どもたちの育ちへ込めた願い等について、ワークショップを行いました。

講師である株式会社 KIKAKULABO の児島永作さんの講演では、「厚真町での取り組みは全国的に見ても先進的であることに誇りをもってほしい。これからの厚真町では、他にはない価値を見つけ、他にない言葉や見せ方で伝えていくことが大切だと思う。」という言葉がありました。

教育委員会では今後も定期的なワークショップを計画しており、次回開催は2月21日（火）です。是非、一緒に厚真町の教育について考えて見ませんか？皆さんのご参加を、お待ちしております。



グループ協議の結果を発表する様子

参加申込はこちらから↓

【問い合わせ】
教育委員会社会教育G
☎27-2495



厚真町教育委員会表彰

厚真中央小学校6年生の佐藤遥さんに栄誉賞
全国大会で優勝の好成績！

令和4年12月24日～25日にかけて、岡山県で行われた第13回西日本選抜女子学童野球岡山大会において、厚真中央小学校6年生の佐藤遥さんが、北海道選抜チーム「北海道スノーホワイト」のメンバーとして出場し、優勝という好成績を収めたことから「栄誉賞」が授与されました。「栄誉賞」は、文化、スポーツの分野において、輝かしい活躍をした個人または団体に贈られる賞です。1月17日、厚真中央小学校で行われた表彰式では、在校生や同級生が見守る中、佐藤さんは緊張した面持ちで、壇上に上がり、遠藤教育長から表彰状を受け取りました。遠藤教育長は、「選抜チームで活躍した話を聞き、小さい頃に野球場に来ていた佐藤さんを思い出し成長した姿に感動した。児童の皆さんもスポーツや勉強など打ち込めるものを見つけて、頑張ってもらいたい。」とエールを送りました。佐藤さんは、「大会は緊張したけど、投手として出場して楽しかった。」「小学校1年生から始めた野球は、友達を沢山作れるし、チーム全員で楽しめるスポーツで、これからも新たな目標に向かって頑張りたい。」と話してくれました。



ノルディーア北海道 ノルちゃん訪問！

日本女子サッカーリーグなでしこリーグ2部所属のノルディーア北海道の関係者及び公式キャラクター「ノルちゃん」が、1月10日に厚真町を表敬訪問し、宮坂町長、遠藤教育長、あつまくん、がお迎えしました。

ノルディーア北海道は、2004年に厚真町で「FC adooma」として結成され、2010年にチャレンジリーグ、2021年になでしこリーグ2部に昇格した、厚真町にゆかりのある女子サッカーチームです。震災の際には、物資の支援もいただきました。代表理事の鉢直人さんは、「新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域との交流を控えていたが、厚真町で誕生したチームなので、女子サッカーの魅力を町民に伝えたい。」と話してくれました。

今後、所属選手やノルちゃんが、厚真町でのイベントなどを通じて、女子サッカーの魅力をお伝えしていく予定です。

長期休業中学習会「アツマナビ」
—異学年で交流し、学び合う時間—

教育委員会は、長期休業中の生活習慣や学習習慣形成への一助とすることなどを目的に、アツマナビを開催し、中央地区では12月26日、27日、厚南地区では、1月12日、13日の合計4日間、小学1年生から中学3年生まで延べ146人が参加しました。

午前の部では、小学1年生～4年生までを対象に、町内ALTのメリッサ先生と共に、英語を用いた特別授業を実施し、英語版の「だるまさんが転んだ」や「じゃんけんゲーム」、「ジェスチャーゲーム」などを実施。その後は、少人数のグループに分かれ、カードゲームの「UNO」を通して、数字や色について学ぶなど、身近な遊びを通して英語を学ぶ活動を行い、参加者は皆、笑顔で取り組み、非常に充実した時間となりました。



中央地区 英語のじゃんけんゲームの様子

就学援助(新入学用品費等)についてのお知らせ

教育委員会では、お子様の小学校・中学校就学にあたり、経済的に困りの世帯に対して、新入学用品及び学用品の購入に必要な経費の援助を入学前に行っています。

- 対象となる世帯 次の要件にすべて該当する世帯
 - ①お様が令和5年4月に厚真町内の小学校又は中学校に入学予定の世帯
 - ②申請時に厚真町に住民票のある世帯
 - ③経済的に困りの世帯
 ※新入学用品等の扶助を受けた後、町内の小・中学校に入学しなくなった場合や、前年(令和4年)の収入が決定した段階で基準を満たさない場合は、返還手続きが必要になります。
- 援助時期等 令和5年3月中旬
(保護者の口座にお振込みします)
- 申込期限 令和5年2月10日(金)
- 必要書類 ①令和5年度要保護及び準要保護児童生徒認定申請書(兼令和4年度新入学用品費等入学前扶助受給申請書)
(町HPからダウンロード又は、教育委員会にも用紙があります)
②前住所地における令和4年度(令和3年分)課税所得証明書
※令和4年1月2日以降に厚真町に転入された方のみ
- 援助額

1 小学生	新入学用品費	54,060円
(予定)	学用品費	11,630円
2 中学生	新入学用品費	60,000円
	学用品費	22,730円
- その他 入学前に申請をしない場合でも、新年度に入り学校へ申請し認定となった場合は、7月頃に同額の入学用品等の援助を受けられます。

●申込・問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所がある方の子弟で、大学等に進学された方のうち、一定の選考基準を満たす方に学資金の貸付を行っています。

- 貸付対象者
 - (1)短期大学、大学、大学院(防衛大学校等を除く)
 - (2)高等専門学校(第4・5学年及び専攻科)
 - (3)専修学校専門課程(2年以上4年以内)
 - (4)国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校
 上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。
 - 選考基準
 学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。
 - 貸付月額
 月額6万円を限度に1万円単位で希望する額
 - 利息 無利子
- ※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

- 貸付方法
 希望される金融機関の口座(保護者等)へ毎月月上旬にお振込いたします。
 - ・通常貸付:初回貸付は7月中旬(4～7月分)
 - ・早期貸付:初回貸付は6月中旬(4～6月分)
 ※早期貸付の場合、前年(令和4年)の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。
- 返済方法
 卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。
- 提出書類
 ①申請書 (町HPからダウンロード又は、教育委員会にも用紙があります)
②在学証明書
③成績証明書(最後に在学していた学校の証明書)
④健康診断書(入学後、学校で受けた結果の写し)
⑤課税資料閲覧承諾書(申請書に添付します)
- 申込期限
 令和5年5月31日(水)まで
(ただし、早期貸付(6月)を希望される場合は4月28日(金)までに申請が必要です。)
- 申込・問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

12月定例教育委員会 12月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

- ◆報告事項
 令和4年度第3回厚南地区学校運営協議会/令和4年度第2回中央地区学校運営協議会/教育研究所第5回運営委員会 / 「100年先の厚真を創る100の学び場プロジェクト」第1回開催 他6件
- ◆議案
 厚真町立学校管理規則願出等手続規則等の一部改正について
- ◆協議事項
 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について/総合教育会議の開催について

★問い合わせ 教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

図書室だより

令和5年1月27日発行

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

TEL 27-2321 (土日)

今月のおすすめ本

《文芸書》

家康の海 植松三十里／著

2023年の大河ドラマ主人公徳川家康の外交をメインにした小説。

《一般書》

ブキャナン＝スミスの斧本 大久保ゆう／訳

身近な道具の斧。良い斧とはから始まり、薪を割る正しい姿勢、手入れ方法などがわかる、斧に特化した珍しい本です。

《児童書》

ラッキーカレー／カレーはあとのおたのしみ

シゲタサヤカ／さく

続き物ではありませんが、2冊読むと面白さも2倍です。



雪の季節の図書室を利用する時は
お気を付けください

靴底に雪がついていると、青少年センター図書室の床がすべり大変危険です。毎年転ぶ方がいらっしやいますので、入口付近のマットで雪を払ってから入館するか、備え付けのスリッパをご利用ください。

また、返却期限日に悪天候等により外出が困難な場合は、図書室までご連絡ください。

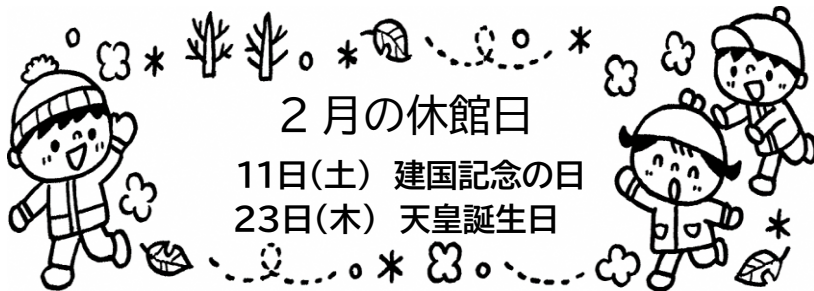
あつま文芸友の会 休会のお知らせ！

平成6年に発足して、毎月詠草会を開催し、年末には会員の作品集「文芸あつま」を発行してこられましたあつま文芸友の会が、2022年12月をもって休会されました。

会員の方が高齢になられたり、近年の新型コロナウイルスの影響により集会を控えられたりと、思うような創作活動ができない中、会員の方の思いが詰まった26号を図書室に寄贈いただきました。

身の回りのことや時事問題を題材に、五七五七七の文字数だけで表現することは、たゆみない努力を続けてこられた結果だと思えます。長い間お疲れ様でした。

写真：毎月図書室へ
寄贈していただいた
文芸あつま



2月の休館日

11日(土) 建国記念の日

23日(木) 天皇誕生日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時 (月・水・金・土・日)

午前9時から午後7時 (火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時 (月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
休館となります。

2月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、

16日(木)午前10時から10時30分まで

場所：青少年センター図書室 絵本コーナーです。

☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

新しい年を迎えました。カレンダーに目をやると、令和5年の文字。元号が平成から令和に変わったのは、つい最近の出来事のように思っていたのですが、今年で5年目になるのですね。時間の流れの早さに驚く年始となりました。クリスマスにお正月と、楽しい行事が続いた冬休み。筆の進まない宿題や自主学習を乗り越え、生活リズムをギリギリのところを取り戻して、登校日を迎えた子もいたようですが、学校の始業とともに、放課後子ども教室も3学期の活動が始まります。

放課後子ども教室が始まって10年の月日が経ちますが、1年目から10年間、続けているプログラムがいくつかあります。その一つが、お正月飾りであるしめ縄づくりです。厚真町は農業の町です。稲作も盛んで、春の田植えに始まり、実りの秋には黄金色の美しい田んぼが目の前に広がります。稲作の収穫物は、お米はもちろんのこと、昔の暮らしには稲わらも生活に欠かせない副産物だったと、子ども教室が始まった頃、地域の方から聞きました。そんな米どころで育つ厚真の子どもたちには、お米を食べるだけではなく、「稲作の良いところを余すことなく伝えたい」と、稲わらを使ったしめ縄づくり体験を、毎年、年末に実施しています。使用する稲わらは町内で収穫されたものを使っています。子ども教室に参加する子どもたちの中には、農業を営んでいる家庭もあり、保護者の方を通じて稲わらをご提供いただくことがほとんどです。こうして地域の資源を提供いただける関係性も、これまでの活動で築いてきた財産だと感じています。

束にした稲わらに撚（よ）りをかけ、撚ったもの同士を編んで縄にする作業は、思いの外、力が必要で肩や腰にも負担がかかります。わらを扱う手も水分を奪われカサカサになり、ときに乾燥したわらの先が手や衣服にチクチクと刺さることも。手仕事には手間暇がかかることを実感しつつも、仕上がったときの達成感や、出来上がったしめ縄への愛着はひとしおです。これもまた心の豊かさにつながると考えています。半紙で作った“ごへい”と呼ばれる飾りに、折り紙の飾りを合わせてお正月の華やかさを演出し、おうちの玄関や部屋にかけておけるよう、かけひもをつけて出来上がり。新しい1年を健康に、大きな事故やケガがなく、明るく過ごせるようお願いを込めてつくるしめ縄です。今年のお正月も手づくりのしめ縄で、居心地よくお迎えできていたら嬉しいです。

